

岩根小学校

学校運営協議会理事長 園田喜久さん

平成25年度から理事長に就任。

地域と子どもたちをつなぐ役割を自ら積極的に関わり、地域の安心安全や防災の取組も盛んにされている。



岩根小学校は昭和28年の台風による山津波や昭和48年の学校火災で被害を受けましたが、地域の「子どもたちを早く学校に行かせてやりたい」という思いで復興した歴史があります。時代とともに生活が多様化する中で、学校にも課題が増えました。学校だけで解決するのが難しいことでも地域を巻き込んで子どもをみんなで見るという形にしたら、学校も助かる、そして地域も自分らの子どもである意識を高められるということで、平成19年に滋賀県下で初めて岩根小学校区にCSが立ち上がりました。

岩根小学校CSの活動で中心となるのは「ホタルまつり」です。今は新興団地の子どもたちも増えていますのでこういう取組を通じて保護者にも地域を知っていただけます。岩根小学校CSは「子どもたちをお客さんにしない」ことを大切に、ホタルまつりでも子どもたち自身がお店活動の売り込みを経験したり、6年生を中心に計画を立て今年度は防災のことをCSやまちづくり協議会と一緒に学習しました。このような経験が、地域を愛することにもつながっています。

また、学校評価(保護者・地域アンケート)は従来学校が行い完結していましたが、岩根小学校CSでは地域もPTAも一緒になってアンケート項目の確認や分析・考察も行っています。基本的には校長先生が決められますが、保護者の生の声を反映させることで各組織の課題や成果を分析して来年度に活かす提案を行っています。耳が痛いこともありますけど、それがあからこそ良いのかなと思いますね。

私たちの活動は、2回の大きな災害で地域の力を貸してもらったことが根幹にあります。地域の人たちの力を借りたり、返したりということの繰り返し。それが岩根小学校の大きな力かなと思いますね。

甲西中学校区

学校運営協議会委員
中野龍馬さん

令和3年度就任。
令和2年度の準備期間からCSに携わる。CSになる前から母校のホームページのリニューアルに関わったり、放課後に中学生がいるんだ体験ができる「ミニ部」を企画されたり積極的に母校に関わってこられた。



甲西中学校区CSは設立して3年目と市内で一番新しく、20代の若い委員がいることも最大の特徴です。彼らはこの地域にいる子どもたちが放課後や夏休みにわくわくして楽しめるような空間・時間を作ろうと地域の子もたちと一緒におかげ屋敷を開催する活動をしています。場所が必要だから地域と連携しないといけないのですが、地域の人たちも新しい試みだからやらせないではなくて、やってみようと言ってきています。そんな経験の積み重ねが彼らの力になると思うので、子どもの主体性を後押しできる大人が学校以外に地域にも増えたらと思います。

僕自身も甲西中学校区で育ち、地域に対する愛着があり貢献したい気持ちから委員に参加しました。まずはCSのことを知ってもらうために広報紙を発行したり、活動を動画で伝えられないかと考えています。子どもたちが地域とともに経験を積み、若い委員が増えることをめざし活動していきたいと思っています。

石部南小学校

地域学校協働活動推進員
山元尚美さん

平成21年度から就任。
学校と地域をつなぐ役割を果たす。
滋賀県コミュニティスクール推進委員も務めている。



地域学校協働活動推進員の主な仕事は、クラブ活動や学習支援(家庭科のミシンなど)、子どもと一緒に活動してくださるボランティアの皆さんを地域から探してことです。石部南小学校CSの目標が、「地元が大好きで将来地元に戻ってきたいと子どもが思えるように育てましよう」なので、CSの活動では地域学習や地元の伝統行事に参加する内容でコーディネートします。

CSができて学校や地域もただ行事を行うだけではなく、こういう子どもを育てていこうという共通の目標ができました。だから私も学校ボランティアをやりたい人が地域から出てこられたら、入ってもらうまでに何のためのボランティアなのか目的や目標はしっかり話し人間関係を作ってコーディネートすることが必要だと思っています。

CSの活動のうち夏休みの活動は、小学校の児童会の子もたちが主体となり活動します。ここ何年かは卒業した中学生がボランティアでたくさん来てくれてめちゃくちゃありがたい！ こういった好循環が続いて、母校や地域を好きになってほしいなと思いますね。

子どもを中心にみんながつながる

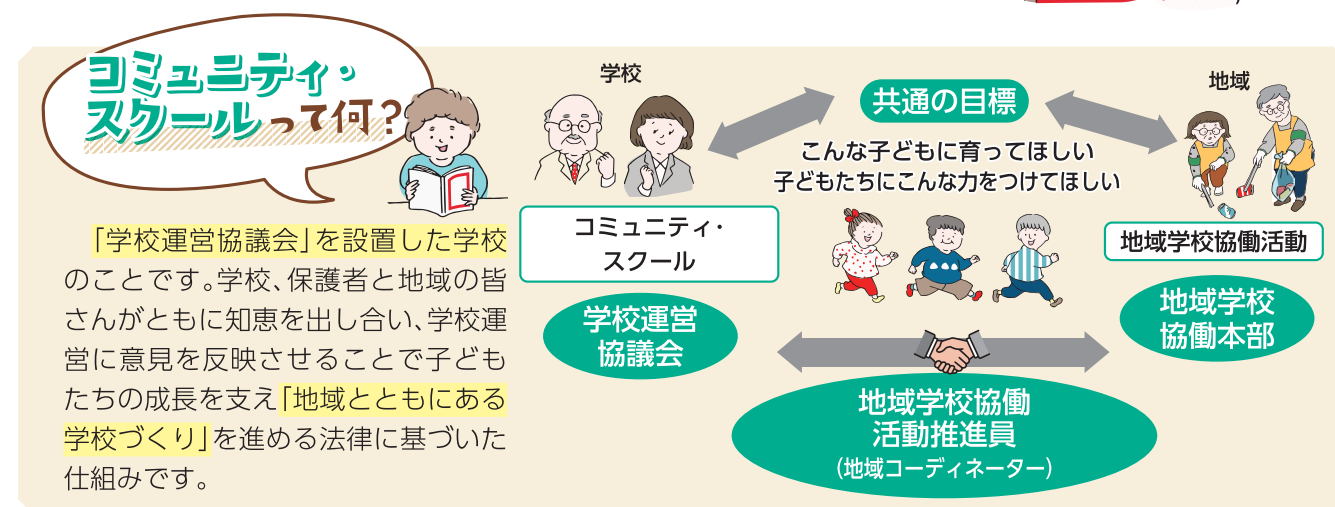
わくわく! コミュニティ・スクール



令和3年4月、甲西中学校区に学校運営協議会が設置され、市内すべての学校が「コミュニティ・スクール」になりました。地域の人が学校に出入りされ、子どもたちのために支援をしていただく光景は日常になってきています。

例えば、子どもと一緒に活動することを通じて大人同士が顔見知りになる見守りボランティアは「安心安全のまちづくりにつながる」「防災の拠点としての役割を担う」など、まちづくりに大きく関わっています。

市では学校や家庭だけで子育てを行うのではなく、学校運営協議会や地域学校協働本部、まちづくり協議会など、**地域との連携・協働による「学校・家庭・地域の総合力」**を子育ての基本とし**子どもたちの自尊感情を育てる**ことを目標に活動しています。



「学校運営協議会」を設置した学校のことです。学校、保護者と地域の皆さんがともに知恵を出し合い、学校運営に意見を反映させることで子どもたちの成長を支え「**地域とともにある学校づくり**」を進める法律に基づいた仕組みです。

コミュニティ・スクールになることで地域と学校がより顔が見える関係になり子どもたちの学びや体験が充実します。

また、保護者や地域住民が学校運営に関わることで地域の活性化につながります。

今号ではコミュニティ・スクール(以下CSと表します)に関わって活動されている皆さんに活動や理念、仕事の内容や展望についてお聞きしました。

日枝中学校

校長 数下和彦さん

平成31年度日枝中学校校長に就任。中学生の活躍と地域の活性化について可能性を探る。



新型コロナウイルス感染症の影響で学校や地域活動が途絶える期間が長かったのですが、CSの皆さんから学校に対して「何かできることないか」と温かく声をかけていただいたことが心の支えになりました。

また、さまざまな活動を子どもたちと行う中で、CSの皆さんは「我々はイベント屋じゃないんや、学校と同じスタッフ。学校と一緒に作り上げていく仲間だ」とおっしゃいます。「地域で子どもをどういうふう育てていくか」という根幹になる部分が、学校と地域にぶれがなくありがたく思っています。例えば地域で活動していくときに、子どもはお客さんではあかん。できあがってるものの中に入ってお手伝いするのではなく、企画の段階から子どもたちが地域で活動できるような仕掛けを大人が作れないかという視点で進めています。

子どもの主体性を育て、中学生が地域で活躍することは自然災害の多い日本できっと「自助・共助」の力になると思います。これからも地域と協働し、小学校とも連携しながら未来の担い手を育てていきます。

わくわく！コミュニティ・スクール活動



各学校でのコミュニティ・スクールの取組を紹介します。学校が掲げる目標は子どもたちは親や先生、友達やきょうだいの関係性ととも、地域の皆さんの関

れぞれ違いますが、地域と力を合わせていきいきとした活動をされています。係性が加わることで達成感や満足感を得て日々成長しています。

菩提寺小学校

「菩提寺学」地域探索（6年生）



地域を学び、ふるさとを愛する心を

岩根小学校

防災ワークショップ



めざせ防災士！6年生の企画が大成功

石部南小学校

いもち送り



たいまつ担いで虫払いの伝統行事に6年生が参加



菩提寺北小学校

CS運動会



子どもも大人も本気！大盛りあがりの運動会

石部小学校

カラフルガードレール大作戦



みんなで楽しく石部のまちをカラフルに！



甲西北中学校

防災フェスタ



中学生の声

免震・耐震の構造を模型で説明しています

外部の防災センターに行ったり、調べたりしたことを発表しました。大勢の人に来ていただいて防災について一緒に考えることができました。

石部中学校

みなみっ子
夏休み
学習教室
スタッフ



中学生の声

小学生から元気をもらったボランティア活動

初めはできることがあるか不安でしたが「これはどうしたらいいの？」と私を頼ってきてくれたので、不安がいつの間にか消えてしまいました。みんなが楽しそうだったので、手伝っている私も楽しい気分になりました。

日枝中学校

ふれあい
防災キャンプ



中学生の声

新聞紙を使ったスリッパや食器作り

いろいろな人と関わりを持つことができたことが大きな収穫でした。小学生に教えること、伝えることは難しかったけど、わかってもらえたときは手ごたえを感じて自信につながりました。

甲西中学校

ふるさと
再発見



中学生の声

湖南省の魅力(いいとこ)を見つけました

地域の皆さんが快く協力してくださり、湖南省の魅力を再発見できました。



水戸小学校

水戸っ子応援団ボランティア・教職員交流会



「水戸っ子を育てよう」の思いを一つに

下田小学校

田んぼの子の活動（5年生）



滋賀羽二重糯の収穫を思い切り楽しみました

三雲東小学校

おばけ大会



子どもも大人も本気モードで怖がらせます



三雲小学校

さんさん教室



夏休み、自主学習のあとのお抹茶体験

教育長 松浦 加代子



仲間
づくり

ふるさと
意識の
醸成

学びの
保障

今回の特集で紹介したコミュニティ・スクールは市の教育方針「楽しくて力のつく湖南省教育」の中で取り上げている三本柱のうちのひとつ、ふるさと意識の醸成にあたります。ここが湖南省教育の肝となります。また、子どもたちが地域の皆さんとともに学ぶことで、湖南省版小規模多機能自治がめざす『地域内のことを地域の人たちが自分たちで考え、問題解決策を決め実行していく姿』にもつながっていくものと確信しています。

地域の皆さんの子どもたちを思う温かなお気持ちや取組に心から感謝申し上げます。